

大洲鐵然 (大洲鐵) 僧侶。天保五年十一月五日周防國大島郡久賀村生れ、
明治三十五年四月二十五日歿（八三歳一八九二）。字後樂、道稱要、順航。
號九香、石堂。弘化二年得度。僧月性に學ぶ。幕末期、眞武隊、第二
奇兵隊、護國團を順次編成して幕軍と戦ふ。維新後、教部省に出仕。
本願寺參政となり、高地黙雷等と大教院眞宗分離運動を指導した。西
南役では鹿兒島巡錫中、間諜の嫌疑を受けて西郷軍に捕はれると、赦
使いより釋放。のち本山の執行長。日清戦争の折には朝鮮布教に當る。

『九香遺稿』（大正三年十一月三十日山口・大洲鐵也編刊）がある。